物質化学専攻	研究分野	精密有機合成化学	Lab. ID MC12
研究室Webサイト	http://kohka.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/lab4/lab4.html		

研究課題の概要

当研究室では、有機合成化学を基盤に、有用な新規有機合成反応および材料の開発を行っています。主な研究テーマは以下の通りです。
1. 高効率・高選択的な新規光化学反応の開発
2. ピレンを基本骨格とする機能性蛍光材料の開発

博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等

大学院入学以前に、基本的な実験操作、安全に対する知識、定量的なものの考え方、論文の読み方、文献検索の行い方、英語能力を、なるべく鍛えておいて下さい。有機化学に関する基礎的な経験があることが望ましいですが、学ぶ意欲があれば他分野からの転向も歓迎です。入学後は研究グループごとに定期的なミーティングなどを通し、研究の進め方などについて学びます。また、年数回、研究室全体での中間報告会を行います。他に、輪講と論文紹介を毎週、学会参加後は学会報告会を行っています。その他、不定期に外部の講師をお招きした講演会を開催しています。研究で得られた成果は国内外の学会で発表、および国際学術誌への投稿論文としてまとめます。

研究室生活の紹介等

学生一人一人に、専用の実験台と机が割り振られます。研究室においては有機合成実験はもちろんのこと、合成した化合物の物性評価、理論計算、文献調査、学会・セミナーの準備、更に講義への出席とそのレポート作成など、多種多様の作業が求められます。そのため、朝は9時開始とし、良く計画を立てた上で夜遅くまで集中して作業する必要があります。安全面の観点から複数人が研究室エリアにいる状態で実験することを推奨します。また、研究室のセミナーでは積極的な発言を求めます。

教員からのメッセージ

研究は個性とそれに基づくオリジナリティーが出る、それが研究の面白さの一つであると考えます。また、実験結果が予想した結果ではなく思わぬ発見になることがあります。思わぬ発見に出くわしたときこそ研究に夢中になるきっかけをつかむことになります。その際、幅広い知識があることが重要です。学生のみなさんには研究を通じて視野を広くもつこと、また困難にぶつかった時に解決法を自力で見出す手段を伝えることが大切であると考えています。有機化学、医薬品合成、光化学に興味がある学生さんはぜひ研究室に来て下さい。化学工業や薬品会社に就職する学生が多いです。研究室旅行や、飲み会、研究室対抗のソフトボール／バドミントン大会（懇親会あり）も開催していますので、研究室内外の親睦に役立てて下さい。

研究室連絡先メールアドレス	前多 肇<maeda-h@se.kanazawa-u.ac.jp>